



卒業まで残りわずか！

2月も下旬となり、3年生にとっては、卒業まで残りわずかとなってきました。「卒業まであと何日」と数えるようになると、一段と一日の過ぎるのが早く感じるようになります。大切な時間を計画的に使い、中学校生活のまとめと進路実現に向けて頑張りたいと思います。

《インフルエンザの予防は油断せずに！》

本校のインフルエンザの状況は、一時期に比べ収まってきていますが、学年や学級によっては、まだまだ油断のできない状況です。予防に配慮した生活を送ってほしいと思います。

手洗いやうがい、マスクの着用、不要な外出を避けるなど、自分の健康管理は自分でを行い、予防に努めてほしいと思います。

授業参観・学年懇談会を開催！

9日（木）の午後に、今年度最後の授業参観・学年保護者会を開催しました。大変お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。生徒たちの授業の様子を参観いただき、成長を感じられたものと思います。



また保護者の皆様には、今年一年間、学校行事やPTA行事にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

卒業式の練習が始まりました！

卒業式を間近に控え、卒業式に向けての練習が始まりました。学年での練習や全校生での練習をしっかりと行い、礼法や合唱に磨きをかけているところです。

当日には、厳かで感動あふれる卒業式となるよう、そして3年生250名にとってすばらしい巣立ちの式となるよう、練習していきたいと思っております。



《二中学生の活躍》

- 田善頭彰版画展
入選 桐生 実和（1年）
菅野 未空（2年）
- 県書きぞめ展
書きぞめ準大賞 大山奈々花（1年）
書きぞめ奨励賞 齊藤 なお（2年）
- 社会を明るくする運動「作文コンテスト」
笛木アリナ（3年）
- 須賀川市俳句ポスト
かわせみ賞(こどもの部) 野崎 聖奈（2年）
- 岩瀬地区ソフトテニス研修大会
男子団体 優勝
女子団体 優勝
- 協会杯中学生インドアソフトテニス大会
男子個人 優勝 小森大樹・橋本蒼弥
2位 安藤達也・鈴木 彪
女子個人 優勝 鎌田美樹・永沼さくら
3位 柏原梨花・小林 愛
鶴沼姫羅々・佐藤愛華
- 岩瀬支部中学校一年生バレーボール大会
優勝 Aチーム
3位 Bチーム
- 須賀川市民体育祭フットサル大会
3位 Aチーム
- 2017県中ジュニアバドミントン大会
男子シングルス ブロック 1位 鈴木 一徳
男子シングルス ブロック 2位 板谷 尊
女子ダブルス ブロック 1位 菅原藍・矢吹美空
女子ダブルス ブロック 1位 上田彩乃・角田陽真里

【県立高校Ⅰ期選抜結果】

7日（火）の正午から県立高校Ⅰ期選抜試験合格内定の発表があり、本校の85名が合格内定をいただきました。内定人数は以下の通りです。

○須賀川高校	23名	○清陵情報高校	24名
○須賀川桐陽高校	17名		
○岩瀬農業高校	5名	○安積高校	1名
○安積黎明高校	1名	○郡山東高校	1名
○郡山高校	4名	○あさか開成高校	1名
○光南高校	2名	○田村高校	6名

正式な合格発表は、3月14日（火）になります。各高等学校からは、内定者に対して課題が与えられており、これから高校入学までの間は学力をつけることが必須となります。自覚をもって残りの中学校生活を送ることに期待しています。

新入生保護者説明会を開催！

16日（木）の午後2時から、本校体育館において新入生保護者説明会を開催しました。中学校生活（学習・生活）や入学諸準備等についての話をしました。

また、須賀川警察署生活安全課長の村山真様から、講話「SNSにおける少年犯罪の現状」をいただきました。今、社会的にも大きな問題となっており、スマホや携帯電話の所持についても考えたいものです。



PTA専門部会を開催！

16日（木）の午後6時30分から、第2回PTA専門部会を開催しました。全体会を行った後、各部会に分かれて今年度の反省を行いました。1年間ありがとうございました。



学校評議員会を開催！

9日（木）の午後2時から学校評議員会を開催しました。お忙しい中、5名の評議員の皆様にご出席いただき、学校評価の結果や教育活動についての話し合いを行った後、各学年の保護者会の様子を参観していただきました。

今年一年間、貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

身近にある「幸せ」！

あなたが幸せを感じる時はどんなときですか？こんな質問をされてどう答えるだろうか。ずっと昔のこと、ある小学生が答えました。

「冬の寒い日の朝、あったかい布団にくるまっているとき」

何かひじょうに貧乏くさい

答えのように感じる人もいる

だろう。しかし、こんなつま

しい幸せもあったのだと、自分

の心までぬくぬくしてくるのを感じる人もいるにちがいません。

昔は今よりもずっと貧しかったが、そここにつつましい幸せがあり、それを見つけ、感受する人がいた。現代に生きる私たちは、「もっともっと」と思い、より大きな幸せを求めたがる。しかし、身近にある、見逃してしまうような小さな幸せもたくさんあるのである。幸せな人というのは、とどのつまり、幸せを感受する能力のある人なのかもしれない。



☆☆☆ こころの窓 ☆☆☆

「教育の始まりは……まねである。」とよく言われます。子どもは、親や教師、大人の生き方をまねて多くのことを学び、育つこととなります。そしてやがては、親や教師を越えるほどの成長を見せてくれることとなります。小学生であれば中学生を、中学生であれば高校生や大人を手本とすることもあります。模範となる手本とまではいなくても、少し意識して生活したいものです。

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

まねる

徳川家康という人は、すいぶんと偉い人であった。人によっては好き嫌いもあるかもしれないが、ともかくも天下を安定させ、三百年の治世の基礎を築いた。どこかにすぐれたところがあったに違いない。だからこそ、徳川家康ブームといわれるほどに、その小説が読まれ、愛好されたのである。

しかし、家康が偉いからといって、そのままこれをまねようとするのは、これはいささか見当違いである。家康なればこそあの道が歩めたのである。たとえ家康以上の人物があったとしても、まねる心だけではおそらく道を誤るであろう。

ものをおぼえることは、まねることから始まる。子どもの歩みを見てもよくわかる。しかしウリのつるにナスはならない。柿の種をまけば柿がなり、梅の木には梅の花が咲く。

人もまたみな違う。柿のごとく梅のごとく、人それぞれに、人それぞれの特質があるのである。大事なことは、自分のその特質を、はっきり自覚認識していることである。

その自主性がほしい。まねることは、その上に立つてのことであろう。